

立花中だより

尼崎市立立花中学校
校長 福田美貴子
平成22年度 学校だより
第10号(H.22.10.1・水)
<http://cen-web/school/J14/index.html>

人権教育講演会 SYD「幸せの種まきキャンペーン」

先月の15日(水)に、2006年に創立100周年を迎えた文部科学省所管の社会教育団体SYD(Supporting Your Dreams)の「幸せの種まきキャンペーン」として、人権教育講演会を行いました。

SYDは、青少年の体験活動や指導者養成、国際交流事業や支援事業などを行っている団体で、この日は、はるばる東京からお二人の講師に来ていただき、DVDや写真なども交えて、ストリートチルドレンやフィリピンのゴミ捨て場でゴミを拾って生活している子ども達のお話し、マザーテレサさんの「死を迎える家」のお話しなどを学習しました。

猛暑の余韻が残る中、どの生徒も熱心にお話を聴き、講師の方からも「立花中は五つ星の学校ですね」とおほめの言葉をいただきました。

事後アンケートの子ども達の感想の一部を紹介します。

- ・自分は本当に幸せなんだと思いました。今でも幸せなのに「あれがほしい、これがほしい」という自分が恥ずかしいと思いました。
- ・生きるため、家族のためにゴミを拾う子どもが何億人もいるということを知り、日本に住む私達はすごく恵まれているんだと思いました。
- ・私よりも小さい子どもが働いていること、1日1食や水だけで暮らしていること、私には考えられないような生活をしている人々がたくさんいて、ビックリしました。どれだけ自分が豊かな暮らしをしているかを実感しました。
- ・日本のボランティアの人たちが、学校の子どもにごはんをあげたとき、3~4口食べてあとは家のお父さんやお母さんに持って帰ってみんなで分け合って食べるというのに、いちばん感動した。豊かな国の子供に生まれた自分は幸せなんだと思った。
- ・ゴミ捨て場にいる人たちは1日1食も食べられない日もあって、雨水をためたりしているのを聞いてびっくりしました。畳1枚くらいの部屋に11人も寝たり、線路の上に住んでいたり、こんな世の中があったんだと、何だか悲しくなりました。でも、必死にがんばっている姿を見ると、とても元気をもらいました。

関川 妙子 校務員 着任 10/1

10/1付けで、3年半お世話になった校務員さんの古本敬一さんが武庫南小学校に異動となり、浜田小学校より関川 妙子さんが着任いたしましたので、お知らせします。